

科目名		産科婦人科学実習	
科目責任者	吉野 潔	(産科婦人科学 教授)	
担当者	栗田 智子	(産科婦人科学・准教授)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産科学においては、胎児—胎盤—母体を通じた栄養輸送について、婦人科学においては、婦人科がん培養細胞を用いた抗がん剤の感受性または、抗がん剤に対する薬剤耐性について実習する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 胎盤を使用した実験計画書を作成することができる。 2) 胎盤を使用した実験の倫理申請書類を作成することができる。 3) 胎盤の栄養輸送について細胞生理学的手法を応用することができる。 4) 胎盤の栄養輸送について免疫組織学的手法を応用することができる。 5) 胎盤の栄養輸送について分子生物学的手法を応用することができる。 6) 婦人科がん培養細胞を使用した実験計画書を作成することができる。 7) 婦人科がん培養細胞について細胞生理学的手法を応用することができる。 8) 婦人科がん培養細胞について免疫組織学的手法を応用することができる。 9) 婦人科がん培養細胞について分子生物学的手法を応用することができる。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		